



# 人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部  
事業だより第57号  
令和4年5月2日

## 春風や 闘志いだきて 丘に立つ (高浜虚子)

この時期、毎年のようにこの句を紹介しています。私のお気に入りです。「苦難の時期を乗り越え、草原の丘に立ち、温かく穏やかでありながらも爽やかさを感じる春の風を受けながら、強い決意を抱き、凜とした姿で未来を見つめている・・・そのような情景が浮かんできます」と書くのも例年と同じです。



昨年度、「推進員さんたちが気持ちよく動いていないのではないか?」「学校の先生方に負担感があるのではないか?」「この事業は機能しているのか?」などの声が届いてきました。他にも、「地域の方々への周知が足りない」「地域ボランティアの発掘が難しい」などという課題もありました。

「さて、どうしたものか・・・」と首を捻っていると、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」がそれらの課題の解決の糸口にならないか、と考えるに至りました。如何でしょうか?

## コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

「文化」を創りましょう!!

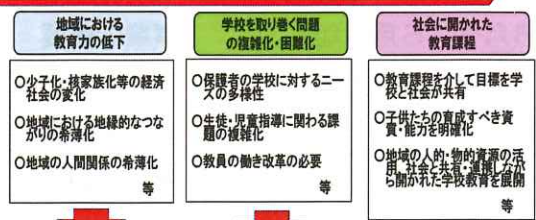
### なぜ今、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が必要なのか

地域では、少子化・核家族化等の経済社会の変化、地域における地縁的なつながりの希薄化、地域の人間関係の希薄化等による地域社会の停滞や教育力の低下が指摘されています。

学校では、保護者の学校に対するニーズの多様化、生徒・児童指導に関わる課題の複雑化、教員の働き方改革の必要等から学校を取り巻く問題が複雑化・困難化しています。

そうした状況の中、「**よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る**」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「**社会に開かれた教育課程**」の実現に向けて、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要です。

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の時代背景と必要性



### コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるために

#### Step① 学校運営協議会

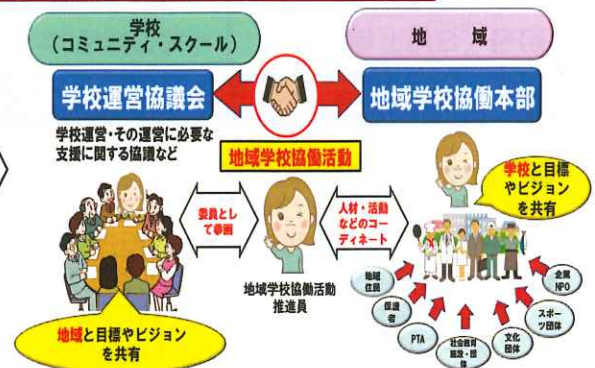
関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議等がその役割を果たします。

#### Step② 地域学校協働本部

Step①の結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。

学校運営協議会と地域学校協働本部は、それぞれがもつ役割を十分に機能させ、一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。

### コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



### 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

次代を担う子供に対してどのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が連携・協働し改革が進められていきます。そこでは「学校運営協議会(地域とともにある学校づくり)」と「地域学校協働本部(学校を核とした地域づくり)」がその改革の両輪で、その両輪をつなぐ「軸」が「社会に開かれた教育課程」です。両輪の一体的推進が「社会に開かれた教育課程」の実現につながります。

※「社会に開かれた教育課程」とは  
「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を子供たちに育む教育課程

### コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



裏面あり